



皆さんこんにちは！

地域おこし協力隊の渡辺です。

今月の集落支援だよりでは、集落間の連携による地域づくりの様子を2つ紹介します。



地域おこし協力隊 集落支援担当

わたなべ たかひろ
渡辺 貴洋 隊員

上谷地区の人足に参加

11月下旬に差し掛かり、町内各地で今年最後の人足や雪囲いなどの冬支度が行われました。今年は、2年ぶりに程窪、泥浮山、長桜3集落合同の人足に参加しました。人足というと、集落単独で行う印象がありますが、近隣の集落と共同で行っているところなど様々な形があります。

当日は冷え込む中、3自治区から計14人が集まり、国道49号の入り口から長桜までの約4kmに及ぶ坂道の落ち葉上げを実施しました。各集落まで続く道路は、住民の皆さんの生活道路となっており、道の保全も含め人足は欠かせないことのできない作業となっています。

その反面、年を重ねるごとに作業は年々大変になっており、秋の人足は、春の作業を軽くするために行われていきます。作業をしてみると、水路には岩山から崩れ落ちた大きな石や山ほどの落ち葉があり、水路がきれいになるに連



上谷3集落の人足の様子

れて冷えていた体もすっかり温まりました。人足は、住民の皆さんと触れ合うことができる貴重な機会となっています。

上谷地区では、町外の集落出身者の協力も得ながら作業を実施しています。しかし、参加者の平均年齢はおよそ70歳であり、住民の皆さんからは、「あと何年できるかわからない」など今後を不安に思う声も聞かれています。

集落訪問では、人足に限らず、集落維持のために主に自治区長宅を訪れて集落状況をお聞きしていますので、いつでも気軽に相談ください。

縄沢サロンへの参加

軽沢、青坂、縄沢集落合同で10月から1年ぶりにサロン活動を再開しています。久しぶりのサロンでは、棒体操や町社会福祉協議会が貸し出しをしているゲーム用具の「ポケットボール」で楽しく体を動かしました。

私もサロンの皆さんと一緒にゲームで個人戦とチーム戦で得点を競いました。が、なかなかボールを転がす力加減が難しく、感覚をつかむことができませんでした。それでも、サロン参加者の中には最高得点の10点を入れた人も



ポケットボール

おり、試合は大いに盛り上がりました。

定期的に住民の皆さんが集まる機会があることは、生き生きと楽しく生活する上で大切な要素の一つだと思います。活動していく中で、お互いに声を掛け合うことが住民同士の見守りにもつながっているように感じます。特に、これから冬を迎えるにあたり、外出する機会も減りますが、輪投げの練習など体を動かす時間を作り、楽しく健康に過ごせるといいですね。

1年を終えて

あつという間に令和4年も終わりを迎えるようとしています。1年を過ぎることが年々早く感じるようになってきました。これから西会津は本格的な冬を迎えます。除雪中の事故などに気を付けながらお過ごしください。

今年もお世話になりました。来年も引き続きよろしくお祈りいたします。